令和７年度 公益財団法人印旛沼環境基金事業報告

第１ 公益財団法人印旛沼環境基金の概要

１　設立趣旨

この法人は、印旛沼の水質浄化を推進し、もって印旛沼流域の環境保全に資することを目的とする。

２　沿革

昭和59年11月20日、佐倉市宮小路町12番地に財団法人印旛沼環境基金として、旧民法第34条の規定に基づいて千葉県知事の設立許可を受けて設立。その後施行された「公益社団法人および公益財団法人の認定等に関する法律（平成18年法律第49号）」の規定により、公益財団法人への移行を申請、千葉県知事の認定を受け、平成26年４月１日に公益財団法人印旛沼環境基金に移行した。

第２ 事業の実施状況

１　事業の概要

令和７年度の事業は、令和７年２月５日開催の第２回通常理事会で決定した事業計画に基づき実施した。

２　事業の内容

（１）印旛沼および流域における調査研究（定款第４条第１項第１号関係）

① 水質調査結果および各種環境情報等の収集と取りまとめ

印旛沼および流域の河川・排水路等で千葉県および流域市町が前年度に実施した水質等に関する調査や印旛沼等の環境保全に関わる各種情報（流域市町が対処した環境に関する問題や苦情、助成した事業、環境関連行事、啓発活動など）について取りまとめた。

これらの結果については、令和８年度に発行予定の「令和７・８年版印旛沼白書」に掲載し、流域内外の関係者や流域住民に周知する。

② 印旛沼の植生等に関する調査

繁茂面積の拡大が懸念される特定外来生物のナガエツルノゲイトウおよび在来のオニビシについて、効果的な除去対策の検討等に資するため、継続的に監視が必要と思われる地点を中心に、ドローンを活用し年間を通した繁茂状況の監視・調査を行った。

（２）講習・学習会および観察会（定款第４条第１項第２号関係）

① 講習・学習会等への講師派遣

関係機関からの要請を受け、下表に示す学習会等に講師を派遣した。

開　催　日	場　所	テーマ	主　催（対　象）
R７．６.19(木)	佐倉市立中央公民館	印旛沼（昔と今）	佐倉市(佐倉市民カレッジ１年生 45 名)
R７．７.12(土)	佐倉市カヌー協会練習場	印旛沼の概要	佐倉市カヌー協会(カヌー体験会参加者 30 名)
R７．７.27(日)	印西市立印旛歴史民俗資料館	印旛沼の成り立ち	印西市教育委員会(歴史民俗資料館講座参加者 12 名)
R７．８.28(木)	成田市生涯大学校	私たちと印旛沼	成田市教育委員会(成田市生涯大学院３年２組 26 名)
R７．８.29(金)	成田市生涯大学校	私たちと印旛沼	成田市教育委員会(成田市生涯大学院３年１組 24 名)
R７.11.５(水)	西印旛沼（臼井田地先)	ナガエツルノゲイトウの観察	酒々井町中央公民館(町民大学 12 期生 11 名)

② 観光船による印旛沼観察会（共催：印旛沼水質保全協議会）

印旛沼流域内の住民を対象に、印旛沼に関する理解や知識を深めるため、観光船による沼や周辺の観察と学習会を行った。

令和７年６月24日（火）：参加者87名

③ 親子で学ぼう印旛沼（共催：各市）

令和７年６月および８月に共催各市在住の親子を対象として、印旛沼や水に関する理解や関心を深めるため、以下のとおり観光船による沼や周辺の観察と簡易な水質検査の体験学習等を行った。３市から延べ44家族117名の参加があった。

令和７年６月７日(土)佐　倉　市：参加者17家族48名（うち子ども24名）

令和７年８月５日(火)四街道市：参加者19家族51名（うち子ども29名）

令和７年８月７日(木)成　田　市：参加者８家族18名（うち子ども10名）

（８月１日印西市、同２日八千代市：台風接近のため中止）

④ 印旛沼環境基金公開講座

ア）施設見学会（共催：成田市・なりた環境ネットワーク）

印旛沼や関連施設から離れた地域の住民も参加しやすく、また現地視察により理解を一層促進できるよう、バスツアーによる講座を行った。

水資源機構千葉用水総合管理所大和田排水機場の見学、印旛沼観光船の乗船、国営かんがい排水事業（印旛沼二期地区）により令和２年度に供用開始した宗吾西機場の見学を通し、それぞれ担当職員からの説明や質疑応答を行い、印旛沼の現状や水管理等について学び印旛沼について理解を深めた。

令和７年９月９日(火)：成田市民18名

イ）座学方式（共催：佐倉市）

様々な視点から「水」に関わる問題について学び考えることを目的として、以下のとおり２回の講座を開催した。

・開催場所：ミレニアムセンター佐倉　ホール

・テ ー マ： いのちとくらしをささえる「水」のはなし

開　催　日	主な内容	講　師	聴講者数
R７.11.29(土)	「水とくらし」 世界と水、日本の水事情など	(公財)印旛沼環境基金 主任研究員	８名
R７.12.６(土)	「水のりよう」 千葉県と水、上下水道の仕組みなど	(公財)印旛沼環境基金 主任研究員	10名

（３）啓発・宣伝（定款第４条第１項第２号関係）

① ホームページの公開等

一般市民や関係団体に対して当環境基金の事業等の紹介や印旛沼および流域の環境保全等に関する情報を広く伝えるため、基金のホームページやYouTubeを活用し、周知を行った。

② 「水辺の風景画コンクール」（第28回）の開催

印旛沼流域内の小・中学校等の児童および生徒の水環境への関心を醸成するため、印旛沼および流域の河川等、身近な「水のある風景」を描いた「水辺の風景画」を募集し、審査・選考した作品を公津の杜コミュニティセンター（もりんぴあこうづ）で展示した。さらに最優秀賞、優秀賞、流域市町長賞の計16点の入賞作品については表彰するとともに、流域市町を巡回・展示した。

なお、もりんぴあこうづにおける展示期間中（６日間）の来館者は、延べ972名であった。

・応募学校数：119 校
（小学校：95 校、中学校：22 校、義務教育学校：２校）
・応募作品数：2,127 点
（小学校：1,809 点、中学校：279 点、義務教育学校：39 点）
・展示作品数：248 点
（小学校：202 点、中学校：42 点、義務教育学校：４点）
・表彰：最優秀賞１点：石井　萌果（佐倉市立佐倉中学校２年）
優 秀 賞２点：柿澤　優月（八千代市立村上東中学校１年）
楊枝　美和（成田市立吾妻小学校５年）
市町長賞 13 点
・表彰式：令和７年 11 月３日（月）もりんぴあこうづ・多目的ホール
・展示会場：もりんぴあこうづ・市民ギャラリー
・展示期間：令和７年10月29日（水）～11月３日（月）
・巡回展示：流域市町（展示期間：各市町５日間程度）
令和７年 11 月７日（金）～ 令和８年２月 11 日（水）

③ 刊行物等の編集・発行

発行日	刊行物名	形　式	部数	備　考
R７．８．29	雑誌「印旛沼」（第 46 号）	Ａ４判８頁	3,000	委託印刷

④ 刊行物等の展示・配布

印旛沼に関する理解促進を図るため、当基金編集・発行の各種刊行物等を講習会・学習会・助成事業成果報告会・水辺の風景画コンクール等において、配布した。

（４）環境保全団体等への助成（定款第４条第１項第３号関係）

印旛沼および流域において自然環境や環境保全に関する調査・研究や啓発等の各種活動を行っている学校や市民団体等を対象に、その活動を支援するため助成金を交付するとともに、その成果についての報告会を開催した。

① 助成対象の団体

高等学校・大学各１団体、NPO 法人・市民団体等６団体の計８団体

②　助成事業成果報告会の開催

上記助成に基づき行った各団体の諸活動の成果を発表するとともに、団体間の情報交換と相互の連携を図るため報告会を開催した。

・日時：令和８年１月 30 日（金）10 時 00 分～14 時 30 分
・場所：千葉県印旛合同庁舎　２階大会議室

・講師：古嶋　美文（印旛沼流域水循環健全化会議　委員）
　　　　石楀　佳太（千葉県教育庁北総教育事務所指導室 指導主事）
　　　　小倉　久子（元千葉県環境研究センター　水質環境研究室長）
但し、所属および職名は令和８年１月 30 日現在
・参加者数：30 名（講師を除く）
・報告の課題名と団体

	題　　　名	団　　　体
1	印旛沼水系新川及び桑納川周辺の水質汚濁調査	千葉英和高等学校 生物研究部
2	印旛沼流域鹿島川における水源地域・水環境の変化と問題に係る環境調査の試み	NPO 法人 環境・地理探訪クラブ
3	印旛沼流域の湧水調査と水環境の啓発活動	NPO 法人 水環境研究所
4	印旛沼マイクロプラスチック調査	日本大学生産工学部木村研究室
5	印旛沼流域に於ける水辺生きもの調査、里山保全と市民啓発活動	NPO 法人 四街道メダカの会
6	里山整備や自然観察会等を通じた里山保全・保護活動	里山の会 ECOMO
7	鯉のぼりと散策路保全事業	二重川に親しむ会
8	カヤックを利用した印旛沼・鹿島川環境美化活動報告	佐倉市カヌー協会

３　運営体制の充実を図るための取組

当法人は、当法人の目的を達成するため、税理士を外部監事に選任し、理事の専門性が不足する分野について、助言を受けている。